

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

（全般モニター使用）こんにちは。16 番になりました、宮本栄八。これより一般質問をさせていただきます。

本日の項目は、水道・下水道について、道路行政について、3 番、市の施設改築の進め方について、4、教育行政についてです。

では早速、まず水道・下水道事業についてです。まず第 1 はですね、料金値下げの考え方についてです。料金値下げの考え方についてはですね、ちょっと、以前市長が選挙前にですね、選挙前って選挙に関係ないときに、一応値下げを選挙で打ち出すと。そのあと、5%とか消費税 8%絡みというようなお話がありました。そこでこういうふうに、考え方はということでお尋ねすることにしてたんですけども、先ほど 9%ということですね、おっしゃいました。ただ 9%ちゅうのがですね、どういうふうに考えていいのかなと、消費税込みの価格の全体から 9%減らすのか、どこから減らすのかというのがちょっとよくわかりませんので、我々っていうか、普通の人を考えるちゅうか、基準にする標準家庭の 20 立方にしてですね、どのくらいにあたるのか。詳細はあれですけど、ざっくりとした概算で答えられたら、お聞きしたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

筒井上下水道部長（発言する者あり）

○筒井上下水道部長〔登壇〕

20 トンの料金のお尋ねでございますが、きょうも山口昌宏議員からも御指摘ありましたような課題を整理いたしまして、提案をさせていただきたいというふうに考えております。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員（笑い声）（発言する者あり）

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

すみません。

以前、去年ですね、インターネットで（モニター使用）調べた全国でのランキングということで、これ 20 立方ですけども、1,650 事業所の 1,455 と。もう一回確認のために、今度議会前に調べたところですね、ここが 1,650 が 1,671 になっとなって、1,455 が 1,597 になって、ちょっと悪くなっとなったちゅうことですよね、半年ぐらいの間で。そこで変化があって、また武雄市も今度 10 月のほうにですね、変化があっただいぶんいいところに行くんじゃないかなちゅうふうに思います。

そして私の話が出んやったとき自分の提案ちゅうのを持ってかないと、市長からお前どう考えてるかと言われたりする……（発言する者あり）

そういうこともあって、ちょっと自分自身は、1 億 3,000 万の黒字の半分を利用したらどうかなと。そういうことで、今の単価あたり 290 円を 30 円下げて 260 円にして、大体 20 立

方のうちの10は基本料金ですので、あとの10立方に300円をかけていって6,400万と。だから1億3,000万の半分ぐらいは使ってできるんじゃないかという、こういうのもつくってきたんですけども、もういらんちゅうことですので、そういうふうにすると4,644円ぐらいになるとですよ、税込みでですね。

それと、多久を超えて小城がなんか今度高くなってみたいで、伊万里までは行かないけど、この辺までどうにか行けるかなっていうふうに考えてるわけですけど、市民の方はこの3,000円台っていうですかね、そこに行ってほしいかなというふうに思いますけども、そこまではとりあえず行けるんじゃないかなと。

今の収支の1億3,000万を半分使うという考えだからこうなるかもしれませんが、もっと全体的な資産を考えてすれば、もっと安くされるか知りませんが、今の現実の1億3,000万の利益から半分使っていったら、こういうふうになるんじゃないかなというふうに思っています。そしたら一応、それをもとに計算するちゅうことですね。それを待ちたいと思います。

次は下水道の料金です。5年以内の見直しちゅうことで、25年に料金の見直しがあるかなと思ったけど、結局農業集落排水の3,250円だったわけですかね。

それと公共下水道の4,000円ぐらいのやつが一緒になって、高いほうに統一したということですね、下水道の料金は、多分農排のときはこの辺ぐらいじゃなかったかなと思うんですけども、4,104円になっとるわけですよ。

だから何とかせんといかんと。この2,000円台まで行けんでも、3,000円台に行きたいなというふうに思うんですけども、水道のほうはですね、経営を改革すればどうにかならんことはないわけですよ。でも下水道のほうはずっとつくり続けてるもんで、なかなか黒字にいくというのはある程度の人数の人が加入して料金払っていただかんと黒字にならんもんで、その途中途中では黒字にならんわけですよ。だからこの下水道のですね、料金はどうすれば少しでも下げられるようになれるのか。もともと多分ここも収支で金額を決めてるんじゃないくて、公共料金という観点で料金が決めてあると思うわけですよ。だから武雄がその収支でっていうことになれば、もうずっとこういうふうな、4,000円台を続けるんじゃないかなと。そこで、なんですかね、どうすれば少しでも4,000円から3,000円台に行けるのかですね、その辺の考え方についてお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

こういう数字っていうか、ランキングを出すこと自体が全くナンセンスなんですよ。というのも、これ多くの市で一般会計から繰入してるんですよ。繰入してて、一般会計の繰入というのはすなわち、例えば下水道を利用してない人たちも下水道の利用の負担をしてるわけ

ですよ。それをもって、これだけ安いんだからというのは、これ議員が言うような話ではないんですよ。それよりも維持管理に、これ莫大なお金がかかるんですね、これは武雄市でもほかの所でも一緒なんです。武雄市だけが維持管理で倍かかるというのは、あり得ない話なんですよ、大体同じものを使っていますから。そういう意味で、本当にさっきの水道料金もそうなんですけども、水道料金もきょう牟田元市長さんの葬儀に私は参列して弔辞を読みましたけれども、あのときも武雄砂漠って言われるぐらいの水日照りがあったじゃないですか、二百何日間にも及ぶね。そのときに本当に皆さんたちのその当時の、私も小学生だったので覚えてますけれども、あの当時の意向をやっぱり受けてね、やっぱりつくった結果、これは否応なく、その水道料金が跳ね上がるということもあるんで、単にね今、高いとか安いとか言うのは本当に議員としては、僕はあるまじき発言だと思っていますので、ぜひそれは——はい、僕もだいぶ人間丸くなりましたのでこの辺にします。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

そしたら私が質問するですね、100 円でも 50 円でも少しでも下げるといふふうに考えるためには、維持費をその 100 円分ですよ、合理化すれば下げてもらえるんですかね。（発言する者あり）

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

すみません、おっしゃってる意味がわかりません。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

いや、維持費がたくさんかかっているから下げられないって言うわけでしょう。（発言するものあり）

だから維持費を減らしていけば少しでも——維持費をですよ、合理化していけば少しでも下げられるんでしょうかということを知っている。（発言する者あり）

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長（発言する者あり）

○樋渡市長〔登壇〕

重ねて意味がわかりません。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

わからんふりしているような感じがするんですけどね。（笑い声）

ただこれがですよ、維持費がたくさんかかるからってこれ言われるわけでしょう、だからわかりましたと。そしたら維持費を減らしていったら下げられるんですかねと言ってるんですけども、ちょっと何回言ってもですね、時間短縮に結びつきませんので（笑い声）先に進みます。（「はい」と呼ぶ者あり）

だからなんかですね、こういうふうにしたらと言われたらいろいろ議員も意見、考えを出せるんですよ。こういうふうには、ここまで下がったらこういうふうにするよ。

それから水道の場合もそがんですよね。水源は捨てられんけど浄水施設を統合すれば減らすことができたわけですよ。だから今のことにもなってるし、だから何か指示というか方針を示してもらえばそれに対する提案なり意見なりが言えるもんです。その辺も指し示してもらったらなというふうには、ちょっと私自身は思っています。

次は公共下水道処理場の整備です。先ほどのことにも関係してましてけども、結局維持経費とかそういう経費がかかるからということが下げられない理由であれば、今度はそっこのほうに目を向けていかんばいかんと。市長ははっきり言わんですけども結局それしかないかなと。本会計からとかいう話があればですね。

それで結局今、供用地区の中央部があらかた整備が進み、今後は東西方面の整備になると思うんですよ。それを今度計画見直しの中でどちらをするのか、川良のほうをするのか下西山のほうをするのか、そういうふうには東部のほうをするのかなって思うんですけども、大体こういう処理場ですね、今2棟目が建っておりますけども、今この計画区域のこっこの駅から温泉までの32ヘクタールと、こっこの新武雄病院方面の4ヘクタールのうちの3分の2ぐらいが終わってるんですかね。

処理場の計画としては大体もともとU字型だったんですけども、U字型を一遍に回すと効率が悪くということでこれをIの字型に2つに分けてまずこっちをして、今この黄色いI型の2号機ができたわけですよ。それで結局この辺の計画というんですかね、どういうふうになっているのかというのをまずお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

筒井上下水道部長

○筒井上下水道部長〔登壇〕

今後の処理場建設計画につきましては、今年度実施をいたします公共下水道区域の見直しを行った上で年次整備計画を再度立てていきたいというふうに考えてるところでございます。

○議長（杉原豊喜君）

16番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

なんか前の計画で 27 年からということになってたので、今度の見直しでここの処理場建設のほうも見直すということだからそれはそれでいいかなと。

するともう 1 点はですね、この I 型が去年完成したんですかね。つい最近完成しておると思うんですけども、これまだ動かしてません。これを動かすと経費が、ばーっと倍ぐらいかかってくるわけですよ、ここでの経費が倍になってくる。それでできるだけ運転せんほうがいいんですけども、そういうわけにはいかんもんで、ちょっと来ても運転せんといかんと。それでこの運転はいつ頃始める計画でしょうか。2 号機です。

○議長（杉原豊喜君）

筒井上下水道部長

○筒井上下水道部長〔登壇〕

1、2 機の稼働の件でございますが、今現在 570 トン程度流入をいたしまして 1-1 系で処理をいたしてあります。今宮本議員がおっしゃるような経費、次の分を動かすと経費かかってまいりますので、今後は流入量が 600 立米を超える時期を慎重に見計らって運転を稼働させていきたいというふうに考えてます。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

600 のうちの 500 ぐらいで、その 30 がどのぐらいでふえてくるのかわからんですけども、今は効率いい運転ちゅうことですよ。それでちょっと効率悪い運転になると。次にこれが早くいっぱいになればいいですけども、じわじわじわじわ何年もかかると非効率運転が何年も続くちゅうことになるのかなちゅうふうに思います。

でも U 字型を I 字型にしたけんが、だいぶ助かっつると言われればそうなのかもしれませんけども、それでですね——そういうことでわかりました。もうすぐ、今はできてるけどまだ運転しないということでしたよね。はい、わかりました。

それで次はですね、下水道処理がらみでいけば 25 年の 3 月議会で早期の——杵東とか言ったりしますけども、杵東衛生処理組合からの早期離脱というのがこの議会で採択されたわけですね。その趣旨は合併メリットである市内施設の有効活用で独自化して、年間 5,000 万円の武雄市からの負担金を減らすという前向きな離脱、独立で、すばらしいことと考えているということです。

今こっちのほうも老朽化してですね、31 年頃に新設される新処理場には不参加のほうがいいと思うんですけども、このときの話は新処理場のことではなくて、それまでの委託料削減を 50 万でも 100 万でもしようということではないかというふうに考えるんですけども、この委託料削減、早期離脱というか離脱に手前で削減ちゅうことはあると思うんですけども、それはどういうふうな方向で進めていけるのか考えをお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

現在の処理施設、杵東地区の処理施設ですけれどもこれは武雄市、旧北方町ですけれども大町町、江北町、白石町の構成団体で構成された組織で運営されております。組合の設立の趣旨、あるいは施設の建設に要した費用等をですね、今構成団体で負担をしているというふうな状況の中で、現施設が稼働してる間はですね、負担金を減らすことはできないというふうな考えておりますので、新施設が稼働するまでは杵東衛生処理組合へ搬入していくというふうなことになります。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

16 番。（発言する者あり）

新しい衛生処理利用の手前まではそのままいくと。確かにですね、2億5,000万ぐらいで動いていて武雄市からの5,000万円がなくなると、私この前委員だったからですね、よくわかってるんですけども（発言する者あり）それを持っていかれると、今収支とんとんでるので厳しいちゅうのはもう1,000万ぐらいの利益しかないの厳しいというのはいまわかっております。

それはそれでやむを得んのか、ただ従量制でですね、少し搬入量は武雄市も減ってるんですよ。水洗化なのかわかりませんが、だからそういうふうな離脱じゃなくてもその持ち込み削減というのは、普段でも江北町が公共下水道が進めば搬入量が減るっていうような感じのそういうのはできるかなちゅうふうに思いますけども、基本的には私の考えとはあまり変わらなかなちゅうところでできなかなと。でもそういう搬入量を節約削減していくことはできるんじゃないかなというふうに思っています。そいでこれは余分なこと（発言する者あり）言わんがよかかしれんですけども、多分今のこの図面からするとですね、ここまでいらんとじゃなかなというに思うわけですよ。

だから杵東衛生処理組合にですね、ここに建てさせて土地を売ってですね、売ってそして今この武雄衛生処理場がやっているような下水道放流（発言する者あり）っていう形の処理場をつくれればそっちも助かるしこっちも空き運転が、身が入って運転できるからいいのかな。これはちょっと次に言いますが、そのようなことも考えています。（発言する者あり）ちょっと考えを提案してるだけですので、すみません。まあこれはこれですね。こういう武雄衛生処理センターにいて今ここに来ていると。

次、今ちょっと600ですね1号機が、2号機が600と。でもこの衛生処理センターとか100しかないんですよ。だから結構いけるんじゃないかなというふうに、うまく活用すればお

互いに助け合えるんじゃないかなというふうに思っています。

次に工業用水道の利用です。約5,000万円の赤字補てんのために毎年繰り入れをしています。対策はこれまで水を使う企業の誘致でした。給水エリアである県営若木工業団地が給水エリアで、ほかのところにやれないと。議会でいろいろ言って雑用水を杵藤クリーンセンターのほうにあげていますが、基本は若木工業団地にしか給水できないと。そこで今度、西濃さんが来て、このように西濃さんが来られてすべてが埋まったと。ということであれば、今2,325トンの供給できる量に対して629トンなわけですね。で、この半数は杵藤処理場に持っていつているんですね。杵藤クリーンセンターに持っていつています。ということは実際は300くらいしか使ってないということですね。もうこの辺の領域になるわけですよ、端数の領域に。

それで私の考えとしては、もう完売したのであるのでここでの利用がないということを県に申し出たり国に申し出たりして給水範囲の拡大、一般の工場とか、またはこの325トンぐらいであったら上水道で代替したりですね、浄水場の運転に経費がかかるならば、杵島工水と連結とかしたらどうなのかなというふうに思うんですけども、この辺の工業用水のですね今後のエリア拡大とかそういうことについてのお考えをお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

筒井上下水道部長

○筒井上下水道部長〔登壇〕

工業用水の現状につきましては、1点手直しさせていただきたいと思いますが、使用水道、今現在、契約水道につきましては674トンでございます。いろいろエリア拡大等の話出ておりますけど、今のところ具体的な計画は持ち合わせておりません。以上です。

○議長（杉原豊喜君）

16番宮本議員

○16番（宮本栄八君）〔登壇〕

今は西濃さんが来たばかりでですね、持ち合わせてないと思うんですけども実際もう多くの水量が余っているわけだからですよ、なんか活用を考えんといかんと思うのですが、市長どうですかね。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

今のところ特に考えておりません。

○議長（杉原豊喜君）

16番宮本議員

○16番（宮本栄八君）〔登壇〕

そしたらこれから考えていってもらえるようにお願いするとともにですね、まあ建設委員会並びに各個人ですね、市に対してなんかこういうアイデアっていうんですかね、前はこの給水エリアの本館から近い工場とかですね、市内の工場のほうにつなげてやるとかそんなことも言っていた時期もあると思うんですよね。だからもうそれまでは、いやあと1カ所くるところが何かな、ビン洗いみたいな工場が来て、恐ろしいこと使うたらどがんすいやかとか、いろいろそういうことを言われてたですよ、あと一画だからと言ったら。今回のもそういうことではないということになればですよ、以前言っていたその本館から近いところの市内公共の利便性を図るといいうのも、この水の使い方かなちゅうふうに思います。で、まだ提案をしていきたいと思っています。

次は道路行政についてです。1番、北方バイパスの整備と市道対応。2番が重要里道の市道化整備の具体化。3、離合場所の整備です。まずはちょっとこれ白くしているのは、いつもカラーばかりだからちょっと市民の方、見にくいかなと思って、ちょっとこういうふうにしていきますけども大意はありません。

1、北方バイパスの整備と市道対応です。北方バイパスはいつ完成になるのか、前29年とか何とか言われたような気もするんですけども、何か実際見るところ北方バイパスですね、ここですね。今整備中ですけども何か草が生えててですね、こういう言い方をすると、もっとこうできるんじゃないかなと、工事がですね。だから29年というのもわかりますけども、そういうのはスピードアップ、今の工事条件を見てもっとできるんじゃないかなと思う気もあって、今どういうふうなことをどうしているのかですね、ちょっとわかりにくいところもあるんですよ。断片的に盛土があって、一部橋梁っていうコンクリート部分があったりして、実際どういうふうな工事が今どうしてどうなっていくかについて、もしわかれば教えてください。

○議長（杉原豊喜君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

北方のバイパスにつきましては、今現在、地盤改良及び盛土、それから避溢橋と言いまして上流から下流に水を流す部分の橋梁がありますけども、その分の3カ所のうち1カ所が完成しているというふうな状況であります。

26年度から川添川の橋梁、それから丁后川の橋梁。これを27年度までで完成させるというふうなことを聞いております。それから避溢橋のあと2カ所も27年度までに完成と。それから28年で道路の施設工、側溝とか縁石とか、それから舗装工ですね、路盤とか表層工、こういうのを28、29というふうな形で完成をさせるというふうな状況になっております。

○議長（杉原豊喜君）

16番宮本議員

○16番（宮本栄八君）〔登壇〕

来年度橋をつくったあとに路盤、それから表層ということで1年1年ということでわかりました。それでですね、それが29年というのは揺るぎないところかもしれませんが、先ほどのここはまた言いますが、また言うかと言われるかもしれませんが北方バイパスがここまでできると。そしてここは合併前に北方中央線っていうのをその前にこの辺の将来の宅地開発を狙ってつくったと。今のところはこっちの逆Z型にいかんといかんと。せっかくつくったのが不便だなと。

そして大型は入れないにしても普通車はこちに通行止めにするっちゃうことはできんもんで、みんなここをずっとこう行くと。すると小学校の近くに来て、そして北方支所の所にこう出てくるということになるわけですよ。だからこの図で言えば、以前言っていたこの辺からダイレックスの手前に田んぼの方を出ていくか、この北方幼稚園の駐車場から庁舎のほうのアスファルト部分を利用していくか、そういうふうにせんとちよっとものすごく、みんなどんどんどん来てここも結構カーブですもんね。ここまっすぐですよまっすぐ。すみません、それでこれが庁舎の横っていうところに来るわけですよ。

次、小学校の横断歩道みたいなどころがあるわけですね。信号機もないし狭くなっているというところで、まあ以前から言ってますように北方中央線からですね、新たな国道にすりつけるということですね、これがそのダイレックスの横の田んぼに行くと。こっちのほうは、もうここに保育園側をぐるっと回らずにこっちからこの駐車場の前のほうに行くという方法があるんじゃないかなというふうに思いますけれども、以前お話したときには、いやこっちは考えとらんでこっちのここの地盤がもつかどうかを心配しているというふうな感じで石橋部長ですかね、答えられたことはあるんですけども、これもそういうことで大切かもしれませんが、この辺も市でできんやったら県道か国道にこう昇格してもらって片歩道くらいにしてですね、こうつなげたらどうかなっちゃうふうに思いますけれども、これについてのお考えをお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

国道34号バイパスについては平成29年に完成する予定で工事が進んでおりまして、現計画ではですね、市道を利用して国道にタッチするというふうな暫定的な計画でありまして、本来江北町までの路線が計画をされておいて、それをまだ発表はされていないというふうなことで早急な路線を決定していただくというふうなことで、今各機関をお願いをしているところであります。

バイパスの路線計画あるいはその早く現国道へタッチさせるというふうな計画につきましては、北方町のまちづくりに大きく影響していきますので、区長会とかまちづくり協議会

等に充分意見を求めながらですね、進めていきたいというふうに思っております。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

そういう地元の人と話し合っていてくださいね、もう市でできんやったら早く国か県かに頼んでしてもらわないと、通行止めできん限りは絶対こっちにくるはずだからですね、相当の混雑が予想されると思います。

次に重要里道の市道化です。公共性の高い里道を地元整備から市道化整備の方針はすばらしいということだと思います。そして話題に出てきたのはトライアル横と甘久線の代替えと思われるたまごや横、それと上西山公民館横ではないかなと思うんですけども、これらについてのですね、そういう市道化するということですけども、まだ市道認定とかそういうのも認定だけでも先にしておけばいいかなっちゃんと思うんですけども、その辺の具体化はどういうふうにしていくのかをお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

現在、里道の市道化については見直しを進めておりますけれども、市道に認定するという事で市道の認定基準に照らす必要もあります。またこの里道につきましては、改良を要するような路線でありまして、地元の意見も尊重しなければならないというふうに考えておりまして、また認定にあたっては議会に諮って決定をしたいというふうに考えております。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

地元と話し合うっていうことをちゃんと実行していただきたいと思います。言う必要ないかもしれませんが、これこないだ出したやつですね。

次は離合場所の整備です。狭小道路の究極的安全策っていうんですかね、その辺が公共というんですかね重要道路とかになんかすれば移転補償費もありますので、まあその現状がどうであろうとそれに見合う対価を払ってずっと購入していくからですね、まあ問題はないっちゃんことではないですけども、それからそれに応じた補償費を払ってずっと広げていくからですね、時間はかかってもできるという部分があります。

しかしこの離合場所の確保とかなんとかは、建物補償というのをもともと考えてないからですね、ちょうど空いているとき、代替え持ち主が変わったときとかそういうときに機を見てぱっと思いにくいということにすることによって建物の補償がなくなったりするわけですね、しなくてもいいと。そういうことで、今私が必要と思う武雄小学校の北側、税務署

横というのがあるんですけども、武雄小学校の入り口の整備については元の古賀部長がですねその部分、保育所の跡地を利用してするということは明言されております。

ただその保育所の土地を利用して道路の離合場所をつくるというのは、まだ建設のほうからはちょっと聞いていないわけなんですよ。だからそこについてお聞きしたいということと、今この税務署の横のところですね、ちょうどここが、前はここところが駐車場で建物が建ってなかったんですが、ここは意外とぎりぎりいっぱいまで建ってて、もう車1台だったわけですよ。

しかしこの先というのは、まず最初に竹下町の裏側に入るのがあってみたり長崎街道の観光客もいますけども、長崎街道のほうのこっちは温泉のほう、こっちは裁判所のほうですね。その先にまた下西山の入り口にもなってるわけですよ。結局、新町、竹下、下西山の入り口で安全面に特に重要ということでもうここの解体されてる今ですね、早く動いてですね、建物が建ったら移転補償費まで払って広げるということはないと思いますので、すぐ動いてほしいというふうに思うんですけども、この2カ所について市の考えをお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

まず武雄小学校北側につきましての保育所前についてですけれども、これは3月議会でも答弁しましたように跡地利用の計画の中で検討してつくるというふうなことで答弁をしていたと思います。

それから新町付近につきましては写真を出されましたけども、個人さんを特定できるかと思っておりますのであんまり好ましくないと思っておりますけども、今私は交渉をやってる段階でありまして、明確に答弁はできないと思っております。

〔16番「はい、わかりました」〕

○議長（杉原豊喜君）

16番宮本議員

○16番（宮本栄八君）〔登壇〕

交渉はやってるということですね。

でも私がおの次の提案にあるですね——大体先行取得というのは土地開発公社がしてたわけですよ。土地開発公社を整理・縮小してきたと。それなら今度だれが先行投資するというんですかね、昔みたいにでっかいやつを先行投資じゃなくて、ちっさい先行投資というのがあろうと思っておりますよ。

例えばいま交渉されているかもしれんけど、値段とか何も予算も確保できておらんわけですよ。だからいまそれ変わるものが土地基金で、こないだは田代酒造跡を土地基金が買ったやつを本会計で買い戻したりしたんですよ。今からするのか、今からするわけですか

なってきたりしていますけども、そういうちっちゃな道路のボトルネックの解消は、大きな、何ですかね、その辺の発展に役立つんじゃないかなっちゃんふうに思っています。

そしたら次に第3番目の市の施設改築の進め方です。選挙のときにキッズライブラリーを大ホール跡につくられるちゅうことですが、その辺の概要ちゅうんですかね、本当にこうちっちゃい人のためなのか、中学生ぐらいまでこうできるのか。それが突き詰めて言えば、何というんですかね、子どもセンター的なものになるのかですね、その辺のキッズライブラリーの大体のその概要というんですかね、それについてお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

これから考えたいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

16番宮本議員

○16番（宮本栄八君）〔登壇〕

これから考えるちゅうことですね。はい、わかりました。

そこで飲食ができるのかとかずいぶん前にもいろいろあったんですけど、ちょっとこれまた後で。

次は大型事業の年次計画ですね。私ちょっといつも言ってますけども、今老朽化、耐震化、合併特例債など大型事業が目白押しと。その年次計画をつくることによって市民の提案ちゅうんですかね、急につくられると——今回新体育館の土地についてもことし決められるちゅうふうなことで、急に出るとなかなか市民っていうと発想はできんですよね。だからある程度あると、例えば私が考えるならば、もう東川登の泥をしばらく新幹線の泥をやめて、それをこっちに持ってきてもらってしたらどうなのかとか、いろいろ考えたりもするんですけども、いろいろ、いろんな計画ちゅうかみんなの意見を反映したりするためには予定される大型事業の年次計画があつてですね、あつたらいいというふうに思いますが、これの年次計画っていうのはつくられるのかどうかお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

平川つながる部長

○平川つながる部長〔登壇〕

大型事業の年次計画ということでございますけど、これについてはアセットマネジメントといいますか主に箱物になりますけれど、この4月ですね、22日付で公共施設の総合管理計画、これをつくるよという事で国のほうから指針が示されてるところでございます。

以前、昨年6月議会、9月議会、吉川議員、それからことしの3月には宮本議員のほうにもこのアセットマネジメントについての考え方については御説明を申し上げましたが、新

たに国のほうから指針が示されてるということになりまして、この指針を踏まえて具体的な計画づくりを今後進めていくということに柱としては、なってます。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

安心しましたというか、そのアセットマネジメントとそれが一緒になっているちゅうのはわかりましたので理解しました。

それと合併特例債もですね、この間変更したときには庁舎が入ってなかったから庁舎を入れたちゅうことだったと思いますので、その辺の変更も同時にやるのかなというふうに思っておりますので、よろしくをお願いします。

次は競輪とかもありますけど、まあそれはもうよかです。

次は住宅のほうですね、市営住宅です。先ほどのこの図のここに住宅があるんですけど、あんまり多いのではみ出してしまっておりますけど、ここが住宅です。住宅も以前から言っておりますように大きな出費の柱なのかなというふうに思っております。それで市営住宅の長寿化計画というのが 25 年度につくるちゅうことで、結局選挙前にはその報告を受けなかったんですけどもその計画の配布はいつなのかということと、またその核心である年次計画や財政計画。これはこの間見せましたね、春日市の何棟あるんですかね、10 棟ぐらいあるんですけども、武雄と同じぐらいじゃないかなと思うんですけどもずっと解体と建設中スケジュールと概算というのが 396 戸で 60 億ということでこう出てるんですけども、武雄市の長寿化計画というのはつくられていて、配布はどうなってるのかお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

計画につきましては、平成 26 年 3 月に改定をしております、今議会の建設常任委員会でまず説明をしたいというふうに考えております。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

その言ってる肝というか多分どこでも分厚い、分厚くないかもしれませんが分厚い中の一番核心はこの事業スケジュールとこの概算ですけども、これ出ますかね。

○議長（杉原豊喜君）

森まちづくり部長

○森まちづくり部長〔登壇〕

先ほど申しましたように、まず議会のほうの委員会のほうで説明をしましてから発表した

いと思います。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

まず出てるか出てないかも建設委員会に言ってからちゅうことで、出てれば嬉しいですけどね。なんか出てなければ前と同じことで、ストック計画と一緒にかなというように感じて、前からいつも防衛線張ってはおりますけども、この浦田住宅というのがこの間、何でしたかね、風呂のところが悪くて何もせずに自ら壊れたという格好ですね。

だから前から言ってますように結局この昭和 40 年代、50 年代のこの赤のところがたくさんありますよと。だから計画的にしないではいけませんというところで——以前からわかってるのは、次は大野住宅かなちゅうことはなんか言葉の端々に言われるから、まあそうなのかなというように思いますけども、ただこれをつくるに当たっても鉄筋でつくるのか、木造でつくるのか、どうつくるのか、2階建てでするのかというのは結局また同じやつ出すと言われるかもしれんけど、武雄も同じくらいの 877 棟のうちに完全整備が 168 程度で、必要な戸数は 500 戸と。500 戸で鉄筋で建てるなら 1,200 万と。先ほどの春日市はここ 1,500 万なとったですね、割り算して逆に単純に計算すると。これは私の計算だから、これは今武雄でつくったやつの建築単価を戸数で割ったちゅうだけですね、単純なことでこれはあっているかどうかはわかりません。

それで鉄筋コンクリートで建てずにいろいろ今あるんですよ。大東建託もありますし、いろいろあります。その辺のような、それが 600 万かどうかはわかりませんがつくれば 600 万程度でできるんじゃないかと。早急に整備したほうがいいし、今できているのも給湯器なしとか今は普通の民間では考えられないような設備状況もあると。そういうのも平行して準備してほしいと。

それと山口議員が言われたような民間業者って言うんですかね、民間業者が建てたやつを借り上げとかですね、そういうのもあるのかなというふうに思います。もし今度ですね、この管理についても、武雄市住宅マスタープランには指定管理者制度を利用するというふうに書いてあるけど全然いかないと。県営住宅では東部はマベック、西部は川原建設に委託してあって武雄のほうも川原建設に委託してありますよと。だから早くマスタープランにかえたいなら、早くしてくださいちゅうことですけども、これも山口議員のところまで解決してるのかなちゅうふうに思っています。

ということで、市長も民間を利用したアパートとか地域分散ということを言われてますので、大体考えは一緒ですね。その辺で進める……

〔市長「いや違います、違います」〕

違うんですか。

〔市長「はい、違います」〕

違うならちょっと、違うところはどこか。

〔市長「勝手に言わないでください」〕

どういうところか。

〔市長「いや、ほとんど違います。勝手に言わないでください」〕

ちょっと答えてもらって。住宅に対して。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

ずっと伺っておりますけど、ほとんど考え方違いますのでそこを同じだということは、おっしゃらないでほしいと思います。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

民間を活用して分散すると。大体同じような……

〔市長「違いますよ」〕

考えじゃないかなと思いますけども、違うということであれば（発言する者あり）また少し違うのかもしれませんが、要するに早く整備をですね、どっちみちせんといかんならすると。そして総額を計算して市でできんやったら民間に委託すると。その割り振りをすると。それが一番重要じゃないかなというふうに思っています。

次に教育行政についてです。1 番目は、学力テストの公表、分析、改革ということで、もう学力テスト、今年度ですかね、終わってると思いますので、結果はと聞いたら8月に出るっっちゃうことで、8月に出るのを今質問してもちょっといかんということで次回へということになっております。

次、タブレットの導入です。私もタブレットの導入というのは期待をしてるんですけども、もう小学校についてはもうある程度固まったと。中学校のタブレット導入ですけども、これについては選定委員会が選定するところというふうに言われるわけですね。きょう、大体日程的なことも言われました。

ただ私が小学校のタブレットでですね、タブレットの縁のゴムというんですかね、カバーが黄色に赤だったので、もうちょっと目に優しい緑とかね、そういうのにできんかどうかと。（笑い声）それとか学年ごとに変えていって、どこに間違っていないかそういうのがわかるようにしたらというふうに言ったら、いやもうこれは選定委員会で黄色って全部って決まってるのでそういうのは変えられんと、こう言われたわけですね。まあそれは選定委員会で決まった。だけん、それは個人の議員が言ったけんで変えられんかもしれんですけども、そう

いうふうになってくると選定委員会に行ってからもう我々が動かせんようになるんじゃないかなと。

だからきょう教育監が言われたその選定委員会であっていいんですけども、まずは教育監の考える中学校タブレットのですね、あり方なり狙いなり、そういうのをですよ、まずこう表明してもらって、(発言する者あり) 表明してもらったらいんじゃないかなというふうに思うんですよね。

それから、また選定委員会が1回上げたやつに対してこういうふうにしてはというようなことが言えるような格好にならんと、選定委員会で決まりました、いや変えられませんと、こういうことじゃないようにできんかなというふうに思うわけです。

それでまあ私は基本的にその中学校のタブレットはですね、前から言ってるようにデスクトップも技術家庭室にそろえんといかんと。タブレットも買わんといかんと。二重投資の軽減のためにキーボードつきを買って、何ですかね、技術家庭室のパソコンの更新はせんと。

またもう一つは、県立高校との連携でここで覚えとって県立高校で先行くというようなこともできんかなというように思ってるんですけども、中学校のタブレット利用も、今みたいな反転学習のみですね……

利用を中心とした小さいミニのタブレットになるんですかね。(発言する者あり)

○議長(杉原豊喜君)

代田教育監

○代田教育監〔登壇〕

中学校のタブレット導入に関しては、すでに武雄市ICT教育推進協議会のほうから昨年の8月答申が出ております。最終答申が出ております。その答申にのっとって行いますが、その最終答申の中では中学校向けは7インチから10インチと幅広く考えることが望ましいということが出ておりますのでそれにしたがって行っていきたいというふうに思います。

○議長(杉原豊喜君)

16番宮本議員

○16番(宮本栄八君)〔登壇〕

要は幅が広いから大きい場合もあるっちゃうことで。それはいいことで、キーボードつきにはどうなのかなとちょっとわからんですけども、そしたら内容はやっぱ反転になるんですかね。

○議長(杉原豊喜君)

代田教育監

○代田教育監〔登壇〕

学習内容等については、中学校になりますので中学校の先生方とも協議しながら考えていくということになります。もちろん反転学習ではなくてスマイル学習を推進してというふ

うに思います。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

もう反転学習というのはなくなってるそうですね、わかりました。スマイル学習になるちゅうことですね。それで、それ以外のことも考えられるちゅうことでちょっと夢が出てきたかなというふうに思うんですけども、今、小学校のほうですね、算数と理科ですけども、結局さっきの話では個人で勉強するやつは先に勉強しておくということであればですよ、もっと国語とかですね、そういうのも先に勉強しよったですね前は。最初に出てくる漢字を書いたりとかですね、音読ば先にしとくとかですね、そういう科目拡大の予定はどういうふうになっていますか。

○議長（杉原豊喜君）

代田教育監

○代田教育監〔登壇〕

スマイル学習における科目拡大の将来的な見込みはあります。ただ1年目ですので、算数と理科でしっかりと実施し検証して行ってから、その結果を見ながらの展開だというふうに考えていますので現時点ですでに国語で社会でやるということは今年度は考えておりません。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

はいわかりました。まあ、せっかくするんだったら拡大してもいいし、その問題をつくるのはですね、早くつくったほうがいいわけであって、それをするかせんかは別として教材は早くつくったほうがいいのかなというふうに思います。

そしてなんか親さんちゅうんですかね、ちょっと聞いたんですけども故障したときにかわりがすぐ来んと。どっからか持ってきよんさとかいう話ですよ。だから予備機はたくさんなんか予算ついとって買ってあったよと。それクラスか学校に置いておけばぱっと壊れたらすぐにかえられるんじゃないのかなというふうに言いましたけども、今予備機は各学校とか教室に置いてないんですかね。

○議長（杉原豊喜君）

溝上教育部長

○溝上教育部長〔登壇〕

タブレットの予備機の配置状況ですけれども、各小学校に5台ずつ予備機は配置しております。それ以外に教育委員会のほうにも38台ということで、合わせて93台の予備機で対応しながら故障した分をですね、ずっと回しながら対応をしております。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

そしたらその保護者の言うすぐかわりが来なかったというのは、どういう意味になるとで
すかね。

○議長（杉原豊喜君）

溝上教育部長（発言する者あり）

○溝上教育部長〔登壇〕

その事柄についてはちょっと詳細にはわかりませんが、導入当初はですねやっぱり
子どもたちの不慣れ等ありましてトラブル等がですね何台か発生してたということで、その
期間じゃないかなというふうに考えております。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

わかりました。最初の段階でばっとう不具合というかそういうふうな不慣れがそれを呼
んでおるっちゃうだけということで、今は別にすぐかえられるっちゃうことですね。はい、
わかりました。

次にですね、その人の続けて言う話には「1、2年はなんか使っていないようだ。せつ
かくこうとって」って……というような話だったんですよね。そこもその人が間違いかもし
れないですけども1、2年は反転学習はしてないとですかね。お聞きします。（発言する者あり）

○議長（杉原豊喜君）

代田教育監

○代田教育監〔登壇〕

スマイル学習ですが……

現時点では1、2年生は行っていません。理科が4年生以上、算数が3年生以上という形
で行っています。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

いや私はですね、あれを使うのが——こういう個人的なことと言っていいですかね。自分
の子どもが小学生になるときにですね、その頃はまだビデオよビデオ。ベネッセなのかはち
よっとわからんですけど、ビデオでなんか山という字は山があつてこうなつていうみたいな
ようなものを絵で見せてですね、子どもに象形文字の流れを教えるというようなのもあつたし
ですね、掛け算の九九も今はなんか保育園で教えてるところもあるみたいな感じで、早く覚

えたらいいちゅうな感じであったと思うんですね。

だからその1、2年もそういうのですね、ちょっともっと——まあ使い方はあまりちょっとまだ1年生がいきなりわからんというのものもあるという話も聞きますけども、その辺もまだ1、2年に応じたその映像とかそういうふうな有効なですね、漢字の書き順のみたいなことなんか、利用できるんじゃないかなというふうにまあ単純に思うんですけども、その辺についてお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

代田教育監

○代田教育監〔登壇〕

1、2年生がなぜ活用しないのかということなのですが、各学校では活用を始めておりますのでその部分が3年生以上と多少違うというふうに認識していただければと思います。

今後ですね、アプリケーション等は充実させて、議員がおっしゃるような反復学習とかそういうものは1年生でも十分に活用できるような形で計画をしておりますので御了承よろしくお願いたします。

〔16番「はい、ありがとうございます」〕

○議長（杉原豊喜君）

16番宮本議員

○16番（宮本栄八君）〔登壇〕

よろしくお願いたします。

まあ有効活用っていうんですかね、あれも一応耐用年数みたいなやつがあるからですね、耐用年数の間に使い回したほうがいいのかからですね、よろしくお願いたします。

それともう一つは、私ちょっと福祉常任委員会に入りまして保育園の園長先生とお話する機会がですね、16年議員やってるんですけど初めてありまして、そのときにこの校長先生たちがこのスマイル学習というんですかね。まあスマイル学習というかタブレットっていうのと保育園生というのが、もうものすごいマッチしているというふうなことを皆さん強調するわけですよ。「は一なるほどね」と。まあ大きくなるとできんかなと思うけど、逆に小さいほうが絵でできるけんが字の説明がないけんがいいちゅうことで、物すごいいいようなことを言われるわけですね。「はあ、そうですか」と。そしたら今度、武内小学校とか山内東小学校のちょっと大きめのタブレットが不要になれば、それを保育園のほうに配ってそこで練習しとけば今度1年になったときにすぐそれが利用できるからもっと1、2年のタブレット教育ちゅうところが進むんじゃないかと思ったわけですね。

そいで（発言する者あり）この武内小学校と山内東の使用済みタブレットをどうされるかも知らんですけども、それを各保育所に配布してそのタブレットに慣れるようにしたらこの1年のときスムーズにいくんじゃないかなというふうに思うんですけども、この辺の山内と

か武内のタブレットの使用をそちらのほうに回すということについてのお考えをお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

樋渡市長

○樋渡市長〔登壇〕

ナンセンスです。（笑い声）

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

ナンセンスではないと思うんですけども、そしたらこのタブレットはどこに行くんですかね、この山内東と武内小学校のタブレット。

○議長（杉原豊喜君）

溝上教育部長

○溝上教育部長〔登壇〕

議員がおっしゃっておりますその i P a d のことだと思いますけれども、これは平成 22 年に I C T 教育の補助事業で購入しております。そういうことで当面は学校現場のほうで使用したいと考えております。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

補助事業っちゅうことで、そしたら北方幼稚園にはやれるのかもかもしれませんね。その償却が終わってですね、廃棄処分するときにうまく利用していただければどうかなというふうに思います。

次は北方幼稚園の民営化です。市長が、私もですけども民でできる分は民ですると、民でできない分はお金を渡すか……（発言する者あり）

加配をするか、その対応をしていけばできるんじゃないかなというふうに思っていますけれども……（発言する者あり）

北方幼稚園の民営化は合併のときにも打ち出されてたと思うんです。それで結局子ども子育てがはっきりせんからと言うけど、はっきりせんっちゅうか、もう内容はっきりしているわけですよ。だからここを子ども園にするって言うなら別ですけども、子ども園にせんとするならばもう幼稚園でいく、北方唯一の幼稚園だからですね。幼稚園のよさを生かしているほうがいいと思うんですけども、この辺については——そしてまた 3 歳、いや 3 歳じゃなくて何歳ですかね。年少の人はほら行けないって、以前私が奥さんから言われたというんですよ。結局木ノ元の辺でよそから来た園のバスに乗っていかれたから、いやそこに幼稚

園あるじゃないですか。いや両方兄弟が行けないからと言われたっちゃうことを言いましたよね。それからその辺の問題もこの際民営化なりそこで解決したほうがいいんじゃないかなというふうに思いますけども、その辺についてお聞きします。

○議長（杉原豊喜君）

溝上教育部長

○溝上教育部長〔登壇〕

北方幼稚園につきましては当面現状のままでも存続していきたいと考えております。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

もともと計画書に書いてあるのを消してあるんですかね、まだ書いてあるんですか。そしてそのままいく理由は何なんですか。（発言する者あり）

○議長（杉原豊喜君）

溝上教育部長

○溝上教育部長〔登壇〕

そのままいくっていうのはそういう需要というかお願いというかですね、そういう求めがあるというのも一つの理由だと思います。

○議長（杉原豊喜君）

16 番宮本議員

○16 番（宮本栄八君）〔登壇〕

今来られてる方かその関係者から、今はこのまましてくれという要望もあるということかもしれませんけどもそれは広く、それこそ北方のまちづくり協議会ですかね、そこに諮っていただいてですよ、北方だけのものではないと言うなら市民アンケート的なものを。

でもやはり地域、地域って思いますのでその辺はその地域で——高校の統廃合と一緒にですよ、関係者絶対自分の園っていうのをですよ変えたくないというのがあるわけですので、それは客観性を持たせる形ではないですよ、どこか都合のいいところだけが民間、いやこっちは民間じゃないと。それでやっぱり 1 つの方針を持ってやっていくというのは必要じゃないかなというふうに思っています。

以上をもって私の質問を終わります。ありがとうございました。（発言する者あり）

○議長（杉原豊喜君）

以上で 16 番宮本議員の質問を終了させていただきます。